

研究課題名	神経再生誘導チューブ ナーブブリッジの製造販売後調査（下顎部）
製造販売後調査実施者	東洋紡株式会社 千田 紹子
研究責任者名	広島大学病院 顎・口腔外科 教授 柳本 惣市
研究期間	実施許可日 ～ 2026年12月31日
対象者	実施許可日（2023年3月15日）から2025年9月の間に、広島大学病院 顎・口腔外科（および共同研究機関）で神経再生誘導チューブ ナーブブリッジによる下顎部の神経再建治療を受けられた患者さん
意義・目的	<p>神経再生誘導チューブ ナーブブリッジの有効性・安全性については、現在四肢領域の神経断裂・欠損に関しては十分な検討症例数の情報を把握しておりますが、下顎部においてはまだ十分な症例数の情報を把握出来ておりません。</p> <p>今回の調査は下顎部の神経に断裂・欠損がある方のうち、その部分に神経再生誘導チューブ ナーブブリッジを使用された患者さんを対象として、この医療機器の有効性や安全性の情報を把握し、適正使用につなげることを目的として調査を実施いたします。</p>
方法	<p>本調査は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は性別・年齢・医療機器の使用状況・他に治療をしている病気の名前・有効性・副作用の発生状況などの日常診療から得られる情報を、担当医師が調査票に記入させていただきます。調査票には、氏名・住所・生年月日等の個人情報に記載せず、代わりに新しく調査用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして東洋紡株式会社に提供します。</p>
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2023年3月15日）
本学の試料・情報の管理責任者、機関の長	広島大学病院 顎・口腔外科 教授 柳本惣市、理事 田中純子
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。調査結果はあなたの個人情報が明らかにならないようにした上で、学会や論文で公表します。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。</p>
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5667 広大学病院 顎・口腔外科 職名 助教 小泉 浩一